

在南ア日本大使館
領事がつづる

南アフリカ通信

Vol. 27

文◎新保 剛

2010年のワールドカップ開幕まで、あと142日。
開催国の南アのことをよく知らない人も多いだろう。
現地在住の日本大使館領事から届くこのコラムで
生の南アフリカを見て、知って、本大会に備えよう!

●「ポートエリザベスではアートフェスも楽しもう」●



Tadashi ITOGA

▲特徴的な屋根が目立つネルソン・マンデラ・ベイ・スタジアム。工業地帯に新設された

ちなみに、このバーは昨年6月に強盗が押し入り、売上金だけでなく、ラクビー観戦のあとに一杯やっていた客からも財布を奪う事件が発生している。

ネルソン・マンデラ・ベイ市のホームページでは住民向けの安全情報を掲載しており、非常に率直で興味深い。例えば、交差点で危険を感じた場合には赤信号を無視してでも逃げるとか、犯罪の被害者にならないために自分の直感を信じなさい、などと書いてある。こう書くと非常に怖い都市に思えるが、ヨハネスブルグほどには危険でないし、日本外務省の出す危険情報の対象地でもない。

W杯の時期は寒い、冬は温暖で、平均最低気温は10度を下回る程度。観戦にはダウンジャケットは必要ないと思うが、内陸部と異なり、雨の日が多いので、雨具は携帯してほしい。

周辺にも見どころは多い。北東100キロほどにあるグラハムスタウンでは、毎年6、7月に大規模なアートフェスティバルを開くことで知られており、今年もW杯の期間中に行なわれる。演劇、オペラ、音楽コンサート、ジャズフェスティバル、ビジュアル・アートなどが催されるが、欧州移民が持ち込んだ文化とアフリカ固有の文化が融合した感があり、一見の価値がある。試合観戦の合間に訪れてみてはどうだろう。

著者プロフィール ● 一等書記官兼領事。06年より在南ア共和国日本大使館に勤務。業務の1つに在留邦人と日本人旅行者の安全対策がある。2010年のワールドカップに向け、日本人旅行者に安全情報を発信する

外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp> 在南アフリカ日本国大使館 http://www.za.emb-japan.go.jp/index_jp.html

日本代表がE組1位で勝ち抜け、さらにベスト8に進出すると、ポートエリザベスで試合となる。ここは、昨年11月に日本が南アと親善試合を行なったところだ。

ポートエリザベスと周辺地域を含んだ地域をネルソン・マンデラ・ベイと呼ぶが、これは日本の政令指定都市に当たる行政都市の名前だ。文字どおり、ネルソン・マンデラ元大統領にちなんでつけられたものだが、元大統領の出生地は400キロ北東のウムタタ市近郊で、同じ東ケープ州内にあるが近いわけではない。

ワールドカップの試合会場にも元大統領の名前がついている。ネルソン・マンデラ・ベイ・スタジアムは工業地帯にあるため、週末や夜は入場者が絶える。試合終了後は早々に帰宅することをお勧めする。また、スタジアム内にはスポーツ・バーがあるが、W杯のときは混乱を防ぐため、スタジアムとその周辺での酒類販売が禁止されるので、観戦後の一杯は宿に帰ってからにしてほしい。



2010年のワールドカップ開幕まで、あと142日。
開催国の南アのことをよく知らない人も多いだろう。
現地在住の日本大使館領事から届くこのコラムで
生の南アフリカを見て、知って、本大会に備えよう!